

安全上の

本プロジェクターは、業務用の電気製品を含む情報技術用装置の安全基準である、IEC950、UL1950と、CSA C22.2 No.950に準拠して製造されています。

これらの安全基準は、安全性に関して重要なコンポーネント、材料、絶縁の使用について大切な要求内容を課し、高電圧がかかっているような（ライブ）パーツに触れる可能性のあるユーザーやオペレータを感電や電気エネルギーによる災害から保護するためのものです。

安全基準はまた、内外の温度上昇、放射線レベル、機械的な安定性と強度、筐体の構造、発火の危険性についても適用されます。

単一障害の条件下におけるシミュレーションを行い、本プロジェクターが正常に動作しない時もユーザーにとって安全であることを保証しています。

設置時の注意

プロジェクターの操作の前に本書をよく読み、その後もすぐに見ることができる場所に保管しておいてください。

設置作業と、設置時の調整は、バルコ社のサービス担当者もしくはバルコ社認定のサービス代理店にご依頼ください。

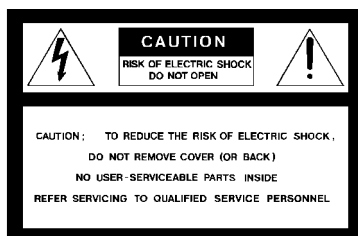
所有者の記録

本プロジェクターのパート番号とシリアル番号が本体の前面に記載してあります。その番号を下記に記入しておいてください。本プロジェクターに関して、バルコ社もしくはバルコ社認定の代理店に連絡をする場合はこの番号が必要になります。

パート番号 (PART NR.) :

シリアル番号 (SER. NR.) :

販売代理店 :



三角の中に矢印付きの稲光があるこの記号は、この内部の部品は感電の危険性があることをユーザーに知らせるためのものです。



三角の中に感嘆符があるこの記号は、本プロジェクターの操作またはサービス、あるいはこの両方のための重要な説明が、技術資料に記載されていることをユーザーに知らせるためのものです。

警告

火災または感電などの危険を防止するため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。

安全に関する一般的な注意事項

- 操作をする前に、安全と操作に関する指示をすべて読んでください。
- 説明書は将来の使用のために必ず保管しておいてください。
- プロジェクターおよび説明書にある警告は必ず守ってください。
- プロジェクターの操作と使用に関する指示には従ってください。

安全上の諸注意

安全にご使用頂くために

1.本プロジェクターは、AC電源に接続してください。

2.本プロジェクターには、接地用ピンがある3線式プラグが付いています。このプラグは、接地型の電源コンセントにのみ差し込めます。これは、安全性のための機能です。コンセントにプラグが差し込めない場合は、電気工事技師に連絡し、適合するコンセントに交換してください。接地型プラグの目的を無駄にしないでください。

お客様への警告：

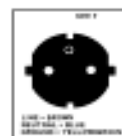
本プロジェクターは、必ず3線式のAC電源ケーブルで接地してください。

(付属の電源ケーブルが適切でない場合は、販売代理店にご相談ください。)

A. CEE7プラグ付きAC電源コード

電源コードは、次のように色分けされています。

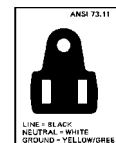
- 緑色と黄色： 接地（安全接地）
- 青色： ニュートラル
- 茶色： ライブ



B. ANSI 73.11プラグ付きAC電源コード

電源コードは、次のように色分けされています。

- 緑色と黄色： 接地
- 白色： ニュートラル
- 黒色： ライブ



3.電源ケーブルの上には、何も乗せないようにしてください。また、ケーブルが踏まれるような場所にプロジェクターを設置しないでください。

4.ケーブルを抜くときは、プラグを持って引き抜いてください。ケーブルは、引っ張らないでください。

5.延長ケーブルを使用する場合は、その延長ケーブルに接続されている機器の定格電流の合計が延長ケーブルの定格電流を超えないようにしてください。さらに、壁のコンセントに接続されている全ての機器の電流合計が15アンペアを超えないようにしてください。

6.プロジェクター本体の隙間などから異物を中に押し込むのは絶対やめてください。危険な電圧点に接触したり、部品がショートしたりして火災や感電の危険があります。

7.プロジェクターには、決して液体をこぼさないでください。もし、液体や異物が中に入った場合は、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。バルコ社認定のサービス担当者が検査をした後でなければ、電源を入れて操作をしないでください。

8.雷が発生しているときや、長期間に渡って放置したり使用しないときは、プロジェクターの保護のために電源ケーブルをコンセントから抜いてください。こうすることで、雷やAC電源からのサージによる被害を防止できます。

9.電源を切る前に、プロジェクターをスタンバイ状態にし、内蔵ファンが止まるまで（約10分間）プロジェクターのランプを冷却してください。その後、プロジェクターの電源スイッチを切ってください。

日本語

設置場所について

1. プロジェクターは、不安定な台車、スタンド、テーブルなどの上には置かないでください。プロジェクターが落下し、破損することがあります。
2. プロジェクターを、水の近くで使用しないでください。
3. このプロジェクターに付属の電源ケーブルを使用してください。この他のケーブルは、外見は同じに見えても工場での安全テストはされておらず、使用には適していません。電源ケーブルを交換する時は、販売代理店にご連絡ください。
4. プロジェクター本体、その後部や下部の隙間や開口部は、換気用です。プロジェクターの動作を確実なものにするため、また過熱を防止するため、これらの開口部を塞いだりカバーをしたりしないでください。ベッド、ソファ、カーペット、あるいはこれらに類似するものの上に置くと、その開口部が塞がれることがあるので絶対に避けてください。
プロジェクターは、ラジエーターや暖房装置の付近や上には絶対に置かないでください。このプロジェクターは、適切な換気ができないような組み込み型や筐体への設置はしないでください。
5. プロジェクターの冷却ファンの動作や、プロジェクター下部と周囲の自由な空気の流れを阻害しないようにしてください。紙片やその他の物体を、プロジェクターの10cm以内に近づけないでください。
6. 高温多湿、液体の近く、ほこりの多い場所には決して設置しないで下さい。適切な換気の出来る場所に設置するようにして下さい。

火災の危険性についてのご注意

警告
BARCO プロジェクターの周辺には、引火性および可燃性の物質を決して置かないで下さい。

BARCOの製品は、最も厳しい安全基準に準拠して製造されています。本プロジェクターで発生する熱は表面、および通風孔を通して放射しますので、きわめて安全です。しかし、引火物あるいは可燃物を本プロジェクターに近づけると自然発火する可能性があります。火災の原因となります。少なくともフロントプロジェクターの周辺40cm、またリアプロジェクターの周辺10cmには何も置かないようにして下さい。BARCO以外の物に対してはユーザーが責任をもって対処して下さい。また、操作中には決して本プロジェクターにカバーなどかけないで下さい。引火物、および可燃物には近づけないようにして下さい。本プロジェクターを発火の原因となる物からは離し、直射日光を避け、通気の良い場所に設置して下さい。雨や湿気には決してさらさないで下さい。そして、上述の注意事項を厳守して下さい。

火災時には砂、CO₂、あるいは消火器を使用して、電気による火災の場合には決して水は使用しないで下さい。

本プロジェクターはUnderwriter's Laboratories Inc.、Canadian Standard Associationによって定められた規格に準拠し、また、米国およびカナダ政府の適合する規準すべてにも準拠しています。

技術サービス

プロジェクターの修理は、自分で行わないでください。カバーを開けたり取り外すときに、危険な電圧に触れ感電することがあります。修理に関しては、すべてバルコ社認定のサービス担当員にご連絡ください。

次の様な状態のときは、プラグを抜いて、修理の依頼をしてください。

- 電源ケーブルや、プラグが破損したりすり切れたとき。
- プロジェクター内部に液体をこぼしたとき。
- プロジェクターが、雨や水で濡れたとき。
- 操作手順に従って操作しても、正常に動作しないとき。
注：調整を行うときは、説明書にあるものだけにしてください。その他の調整を行った場合は、破損することがあり、それを元に戻すためにバルコ社認定サービス担当員による長時間の作業が必要になることがあります。
- プロジェクターを落としたときや、本体が破損したとき。
- プロジェクターの性能が著しく変化し、修理が必要と思われるとき。

交換部品 — 交換部品が必要なときは、必ずバルコ社製の交換部品もしくは元の部品と同じ特性を持つバルコ社指定の交換部品を使用してください。指定以外の交換部品を使用すると、性能や信頼性が低下したり、火災、感電、その他の危害が発生することがあります。指定以外の交換部品を使用した場合は、保証が適用されません。

安全点検 — 本プロジェクターの修理・点検完了時に、バルコ社認定のサービス技術者にプロジェクターが正常に動作することを確認してもらってください。

本プロジェクターは、メタルハライドランプを使用しています。その他のランプと交換すると、オーバーヒートしたり、投射映像の品質が悪くなることがあります。必ずバルコ社指定のランプをご使用ください。

クリーニング

クリーニングをする前に、必ずコンセントからケーブルを抜いてください。液体クリーナーや、エアゾールクリーナーは、使用しないでください。プロジェクター外部のクリーニングには、濡らせた布を使用してください。

プロジェクター本体をいつも新品のように綺麗にしておくには、定期的に柔らかい布で汚れを拭き取ってください。がんこな汚れは、薄めた中性洗剤で軽く濡らせた布で拭き取ってください。シンナーやベンジンのような強い溶剤や、浸食性のクリーナーは本体キャビネットを傷めることがあるので、絶対使用しないでください。

プロジェクターのレンズの光学的性能と解像度を最高にするために、レンズには特殊な反射防止コーティングが施されていますので、レンズには触れないようにしてください。レンズの埃を取り除くには、柔らかな乾いた布を使用してください。湿った布や、洗剤、シンナーは使用しないでください。オーナーズ・マニュアルにあるレンズのクリーニング手順に従ってください。

再梱包について

出荷時のダンボールと梱包材料を、保管しておいてください。発送する必要が生じたときに、重宝します。再梱包は、最初に送られてきた通りに行ってください。

照明

投影される画像の品質を最高にするために、スクリーンに当たる周囲の照明や光を必要最小限にすることが大切です。

プロジェクターとスクリーンを設置するときは、スクリーンに周囲の光が直接当たらないように注意してください。直射日光や蛍光灯による余分な光のスクリーンへの写り込みが無いようにしてください。

適度な照明をするために、白熱球のスポットライトや調光器などの使用をお勧めします。可能であれば、プロジェクターを設置する部屋の床と壁も、光を反射しない黒っぽい表面にするよう配慮してください。明るい表面は、周囲光を反射・散乱するので、スクリーンに投影される画像のコントラストが弱められることになります。